



株式会社ウイルテック

東京証券取引所スタンダード市場
証券コード：7087

2024年3月期第2四半期

決算説明資料

2023年11月9日



2024年3月期
第2四半期
決算概要

4



2024年3月期
業績予想

12



トピックス

15



APPENDIX

19

- **数値に関する注意事項**


当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

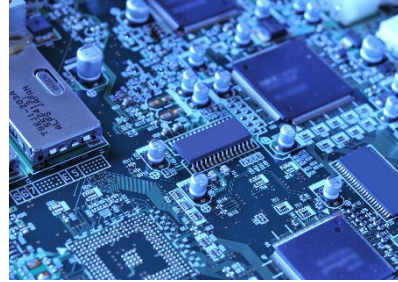
- **見通しに関する注意事項**

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

事業セグメント

EMS事業

 デバイス販売テクノ株式会社
techno



- 電子機器の受託製造
- 電子部品卸売



マニファクチャリングサポート事業

 WILLTEC 株式会社ウイルテック



- 製造請負・製造派遣
- 機電系技術者派遣
- 修理サービス

ITサポート事業

 Partner 株式会社パートナー

- ITエンジニア派遣
(SE・PG・IT基盤/運用等)
- 請負開発：社内開発

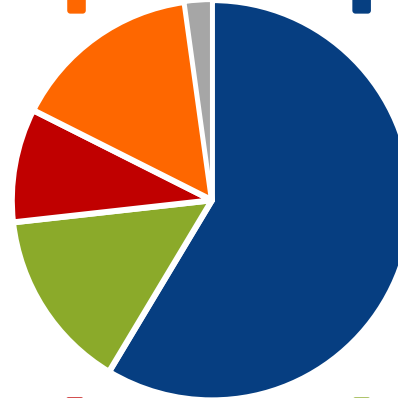



コンストラクションサポート事業

 WAT CONSULTING 株式会社ワット・コンサルティング



- 建設系技術者派遣
- 工事の請負・受託
- 建設に関する教育・研修



A horizontal bar on the left side of the page, consisting of a blue segment followed by a green segment.

2024年3月期第2四半期 決算概要

2024年3月期第2四半期決算概要

- 売上高は主要4事業のうち、基幹事業の製造請負・製造派遣の減速により対前期比で減収
- 主要顧客の大幅な減産による労働時間の減少や待機人員を抱えたことにより大幅減益

(百万円)	2023/3期 第2四半期 実績	2024/3期 第2四半期 実績	前年比 増減率
売上高	16,226	16,047	▲1.1%
営業利益 (営業利益率)	328 (2.0%)	▲2 (-)	-
経常利益 (経常利益率)	409 (2.5%)	28 (0.2%)	▲93.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	231 (1.4%)	▲21 (-)	-
一株当たり四半期純利益 (円)	36.87	▲3.29	-

営業利益増減要因分析

売上高影響

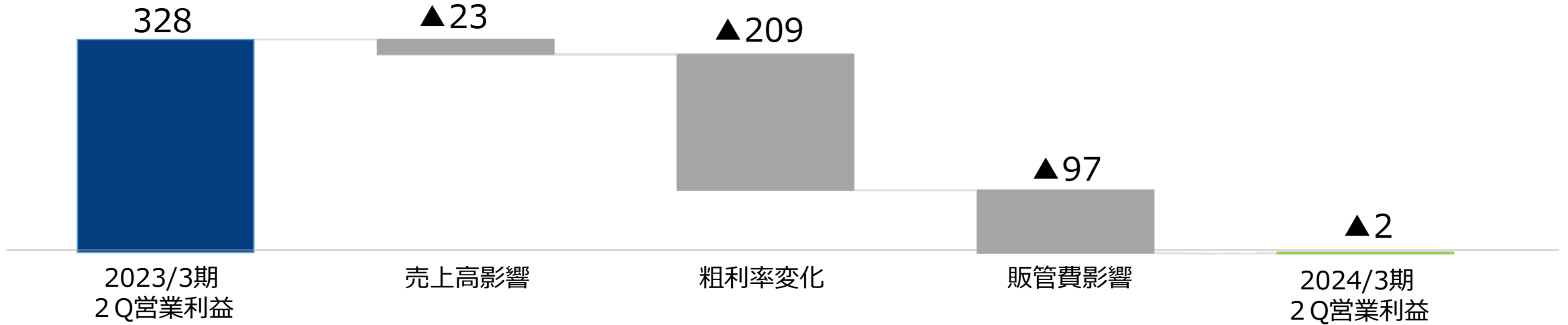
- 製造請負・製造派遣で大幅減産が発生し、マニファクチャリングサポート事業が減収
- 技術者派遣、EMS事業は増収

粗利率変化

- 製造請負・製造派遣において待機人員が増加したため、粗利率が悪化
- コンストラクションサポート事業は、将来の需要を見越した海外人材教育・未経験人材育成に注力した結果、一時的に原価率が上昇

販管費影響

- 新卒採用による販管人材が増加



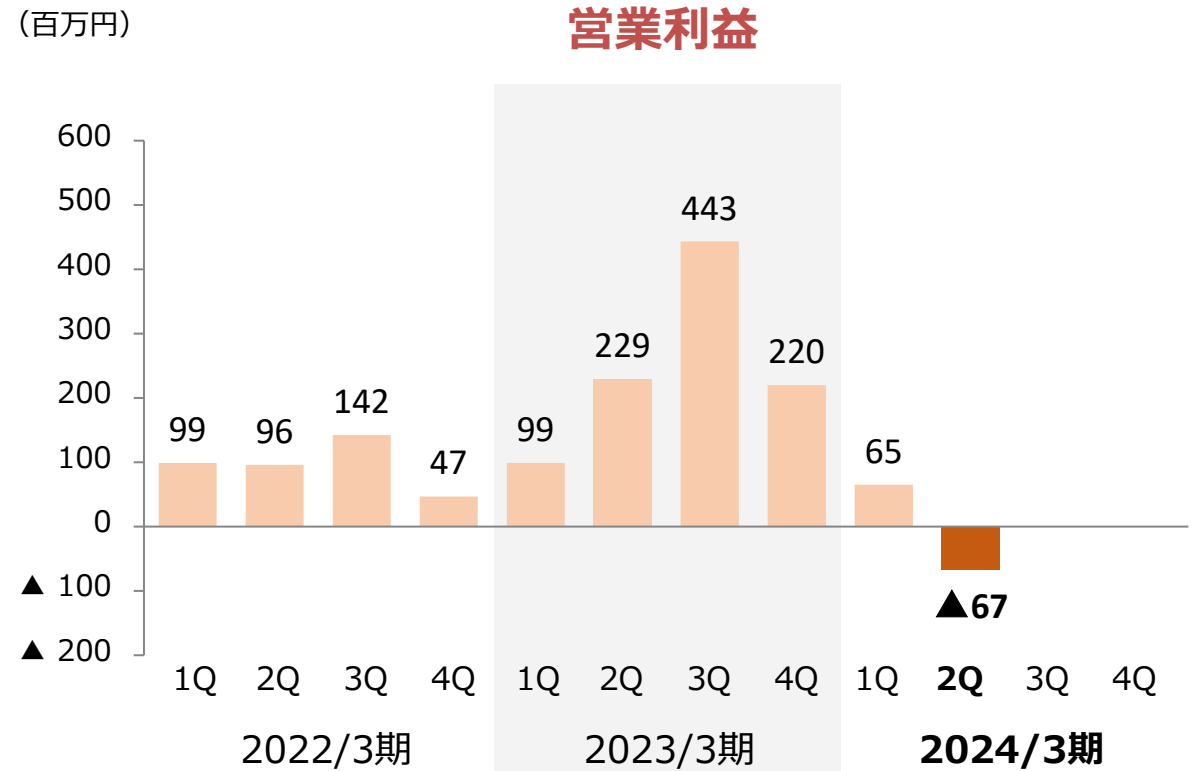
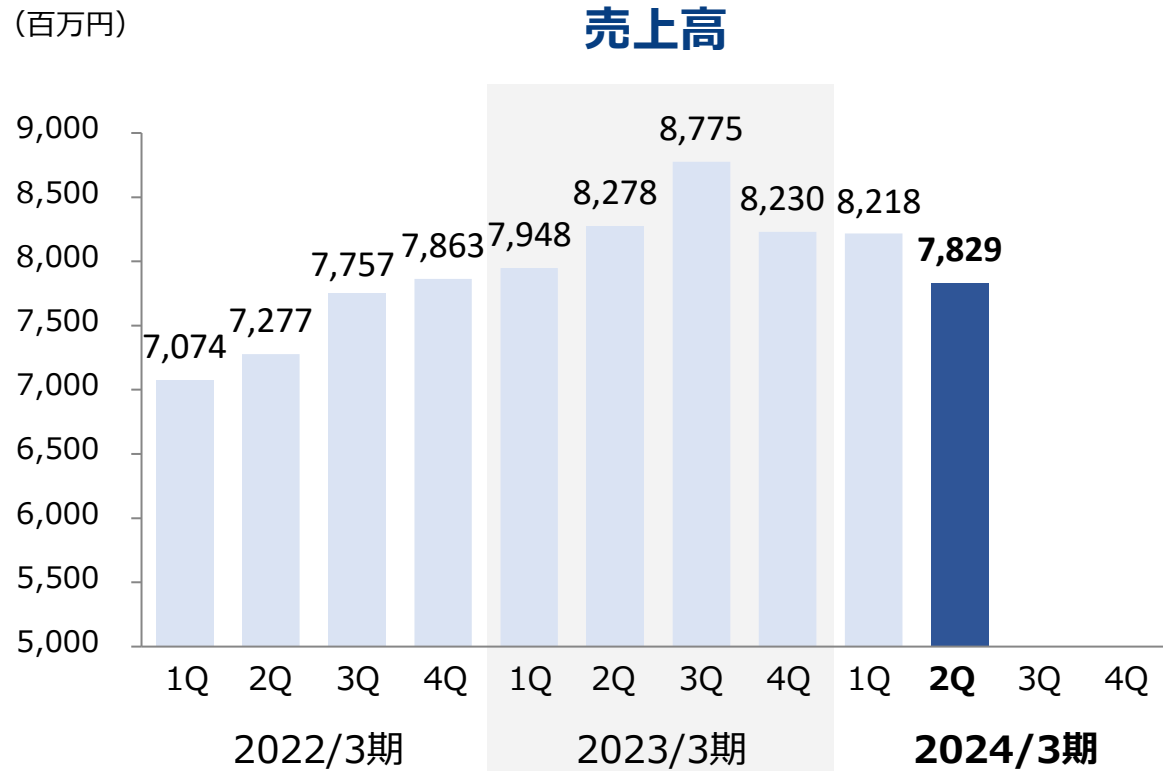
セグメント	売上高影響	粗利率変化
マニファクチャリングサポート事業	▲8.3%	▲2.4%
コンストラクションサポート事業	+12.9%	▲0.3%
ITサポート事業	+8.4%	+0.4%
EMS事業	+15.9%	+1.0%
その他	▲8.2%	▲2.1%

2024年3月期業績推移（四半期単位）

（単位：百万円）

【売上高】 第2四半期期間中に夏季休暇を活用した工場の稼働停止が発生したため、主力の製造請負・製造派遣で大幅減収

【営業利益】 工場の稼働停止や減産により、労働時間の減少、待機人員が増加したことで利益率が悪化



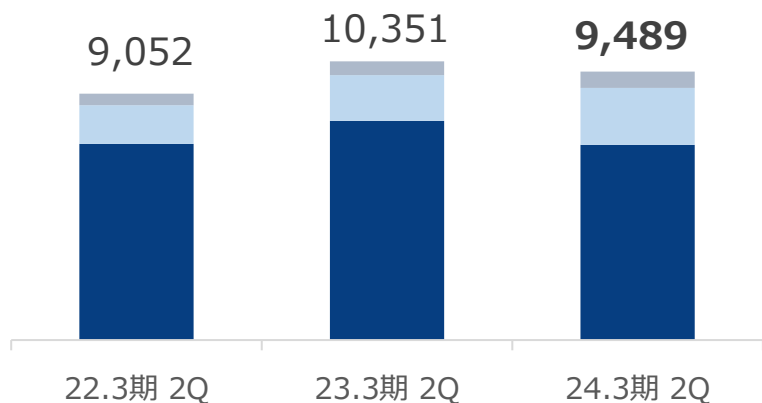
セグメント別業績 マニファクチャリングサポート事業

(単位：百万円)

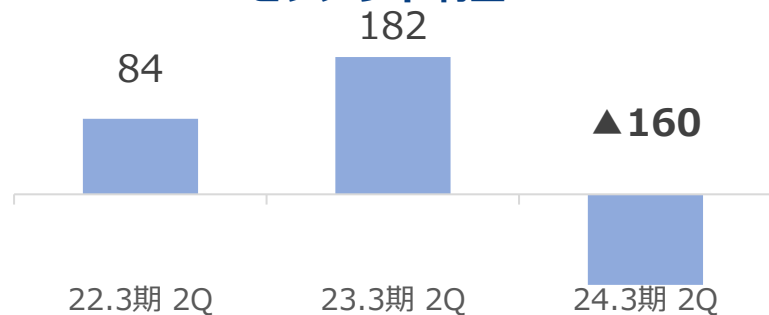
- 情報通信機械器具関連の需要減に伴い、当社主要顧客の大幅減産により売上・利益共に悪化
- コロナ禍中に教育投資に注力した技術者派遣事業が順調に成長し、セグメントにおける構成比率も上昇

セグメント売上高

■ 製造請負・派遣 ■ 技術者派遣 ■ その他



セグメント利益

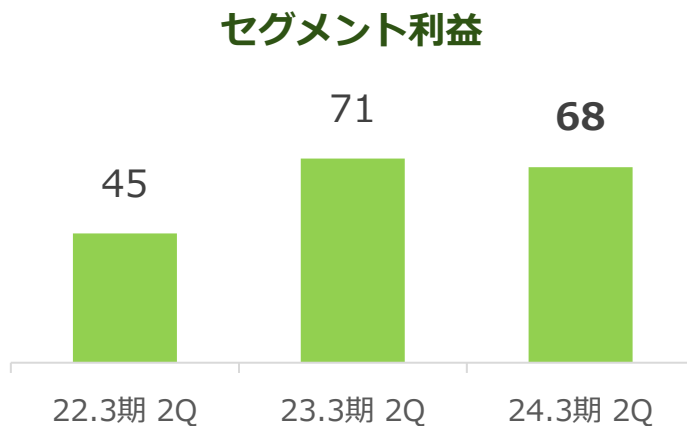
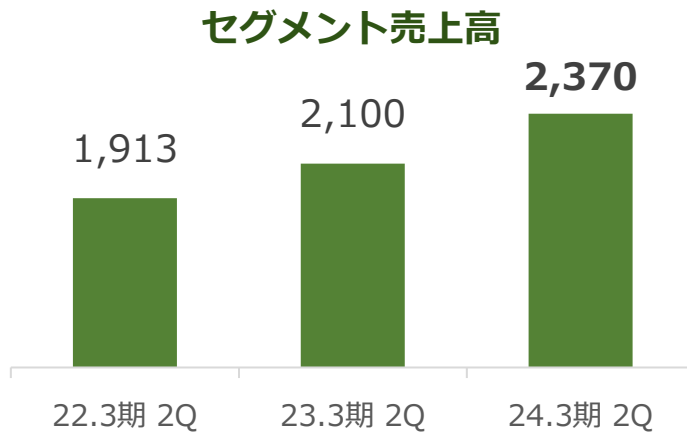


	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	前期比 増減率
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	1,832	1,707	▲6.8%
情報通信機械器具製造業	3,474	2,277	▲34.5%
電気機械器具製造業	1,493	1,432	▲4.1%
輸送用機械器具製造業	873	897	+2.7%
生産用機械器具製造業	676	749	+10.8%
その他	2,001	2,425	+21.2%
セグメント売上高	10,351	9,489	▲8.3%
セグメント利益	182	▲160	▲187.9%

セグメント別業績 コンストラクションサポート事業

(単位：百万円)

- 全国で再開発プロジェクトの計画はあるも、人材不足と資材高騰による受注控えや工事着工遅れが一部で発生
- 堅調な需要に応えるため、外国人や未経験者の採用・教育投資に注力



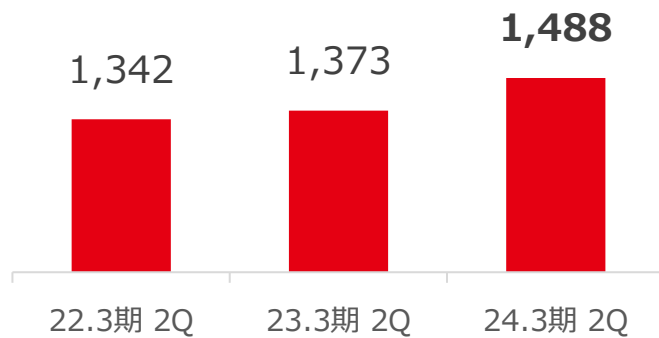
	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	前期比 増減率
人財サービス事業	2,052	2,311	+12.6%
(内 建築分野)	(704)	(782)	+11.1%
(内 建築設備分野)	(1,098)	(1,262)	+14.9%
(内 その他分野)	(250)	(267)	+6.8%
請負・受託、その他	48	59	+22.9%
セグメント売上高	2,100	2,370	+12.9%
セグメント利益	71	68	▲4.2%

セグメント別業績 ITサポート事業

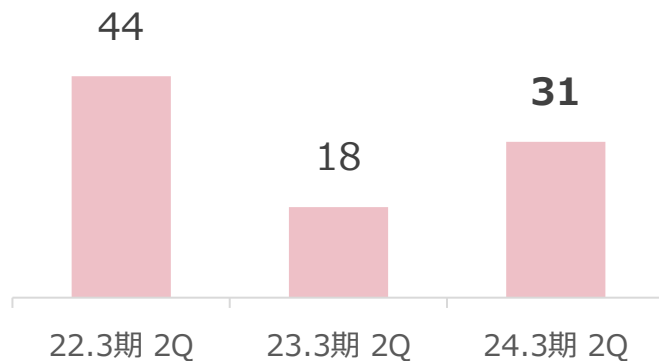
(単位：百万円)

- ERP関連の需要に応えるべく、未経験からの人材育成により受注拡大
- 市場として、社内システム開発がオープン系からWEB系に移行

セグメント売上高



セグメント利益



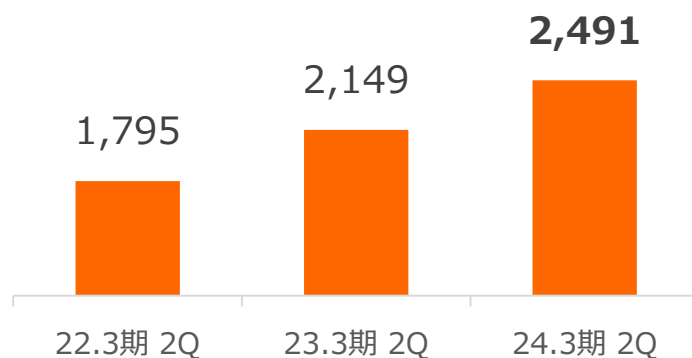
(百万円)	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	前期比 増減率
システム開発 【アプリケーション】	1,130	1,196	+5.8%
(内 WEB系)	(596)	(622)	+4.4%
(内 オープン系)	(226)	(195)	▲13.7%
(内 汎用系)	(86)	(87)	+1.2%
(内 ERP)	(222)	(292)	+31.5%
その他	244	(293)	+20.1%
セグメント売上高	1,373	1,488	+8.4%
セグメント利益	18	31	+68.8%

セグメント別業績 EMS事業

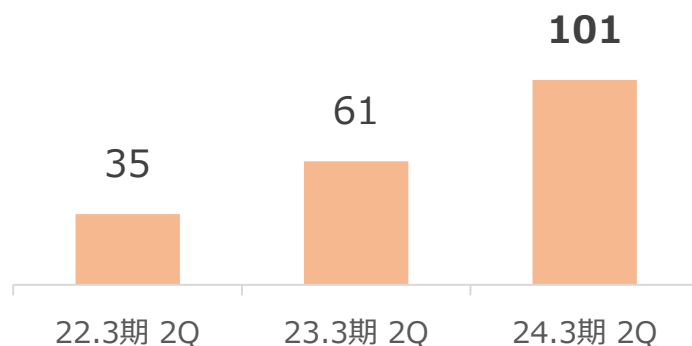
(単位：百万円)

- 国内における設備投資が活況にあることで、工作機械・物流関連・インフラ関連の受注は好調を維持
- ユニットは部材供給網が改善してきたことで、受注残は順調に売上に転化

セグメント売上高



セグメント利益



	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	前期比 増減率
デバイス	1,212	1,376	+ 13.5%
ユニット	938	1,116	+ 19.0%
セグメント売上高	2,149	2,491	+ 15.9%
セグメント利益	61	101	+ 66.1%



2024年3月期 業績予想

2024年3月期業績予想

- 製造請負・製造派遣は引き続き厳しい状況が継続
- 期末予想については現在精査中（精査でき次第、速やかに開示）

(百万円)	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 通期予想
売上高	29,971	33,231	35,578
営業利益（営業利益率）	384 (1.3%)	991 (3.0%)	1,055 (3.0%)
経常利益（経常利益率）	648 (2.2%)	1,132 (3.4%)	1,102 (3.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益 （当期純利益率）	292 (1.0%)	656 (2.0%)	643 (1.8%)
一株当たり当期純利益（円）	46.79	104.34	102.28
通期配当（中間配当）（円）	38 (10)	40 (12)	40 (20)
EBITDA	843	1,248	1,232
ROE（自己資本利益率）（%）	4.3	9.3	8.7

当社グループの需要見通しと対応

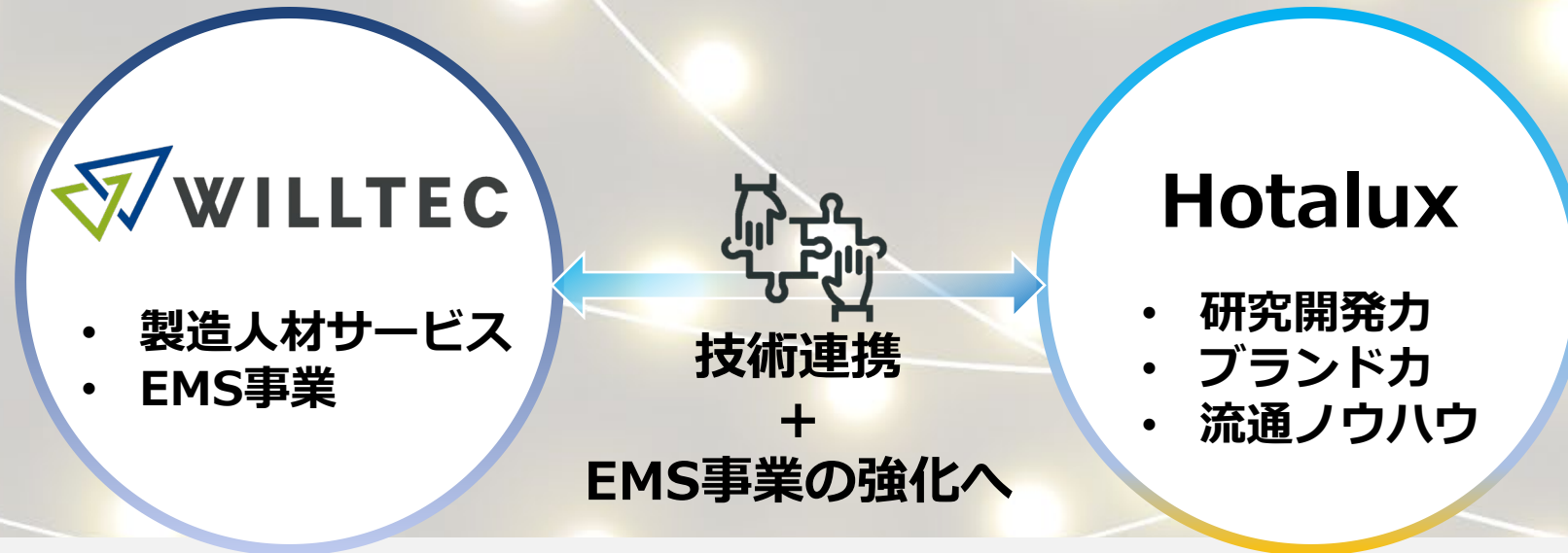
	市場の需要見通し（24.3期）	当社の対応
マニファクチャリング サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 半導体市場は一時的な在庫調整が想定より長期化 自動車産業の回復に伴い車載市場も3Q以降回復 機械系・電気系技術者のニーズは上昇 今後の半導体関連工場の本格稼働に向けて半導体設計のニーズが上昇 蓄電池、EV充電器市場への参入企業増加に伴い、導入・保守ニーズが拡大 DX投資に伴うロボット・AI関連の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 製造派遣・製造請負人員に対し、より高付加価値な業務（FEなど）へ配属するため、教育に投資 採用計画の見直し（抑制傾向） 海外人財の活用強化 技術者が経験を積むごとに積極的に配置転換することで単価アップに注力 CAD、設備保全分野のリスキリング推進 外国人技術者の活用推進 蓄電池/EVインフラ関連の業務拡大に向けたパートナー企業の拡充 ロボット導入、保守人材の育成・確保 ロボット関連の国内外企業とのアライアンス推進
コンストラクション サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 建築・建築設備における人材ニーズは引き続き堅調 電気工事については、公共事業・EV設備工事が増加 	<ul style="list-style-type: none"> 研修の充実により、多様な技術者の育成・配属に注力（海外人材（施工管理）、女性人材（BIM関連）） 教育コンテンツの制作、eラーニング及びオンライン研修の販売に注力 公共事業の電気工事、EV設備工事など受託事業の実績積み上げ
ITサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> WEB/ERP、高スキル経験者の需要が引き続き堅調 保守業務における需要は堅調継続 	<ul style="list-style-type: none"> 経験者を中心としたチーム提案の推進 受託案件の受注推進
EMS事業	<ul style="list-style-type: none"> 一部工場の稼働延期が発生しているものの、国内の設備投資はおおむね堅調 設備関連で特に中国を中心とした輸出需要が減少 	<ul style="list-style-type: none"> 好調である環境商材に注力 年始から回復見込みの半導体製造装置関連向けユニットの生産体制の構築 効率的な生産体制の構築により工場稼働率を向上

A short horizontal line with a blue segment on the left and a green segment on the right.

トピックス

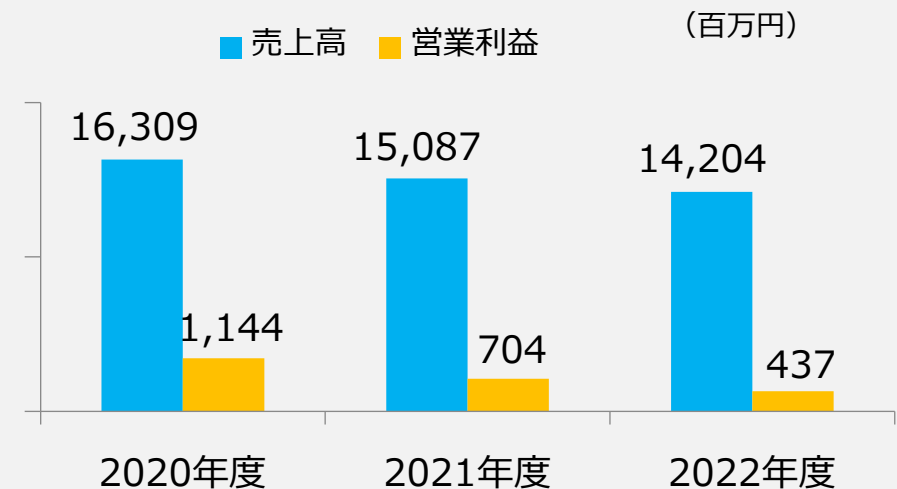
M&Aの進捗について

- 照明ブランド「Hotalux」を持つ株式会社ホタルクスをM&Aで完全子会社化



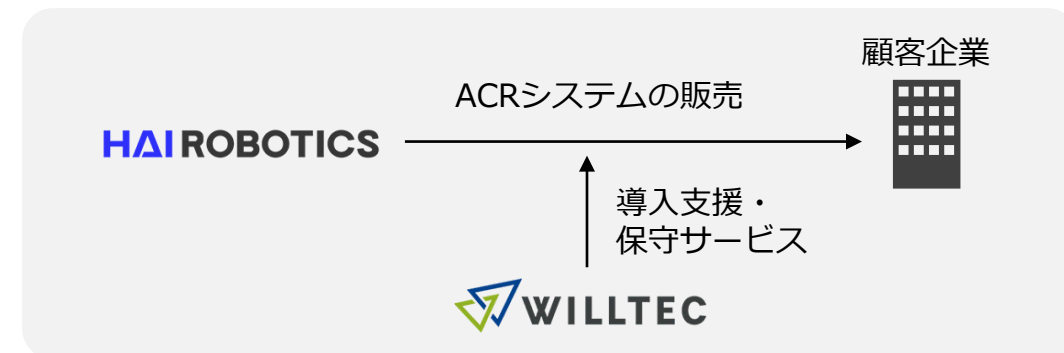
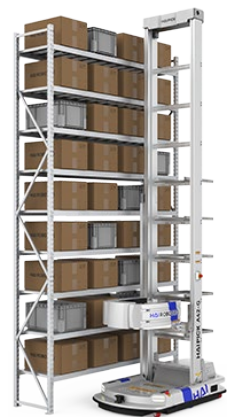
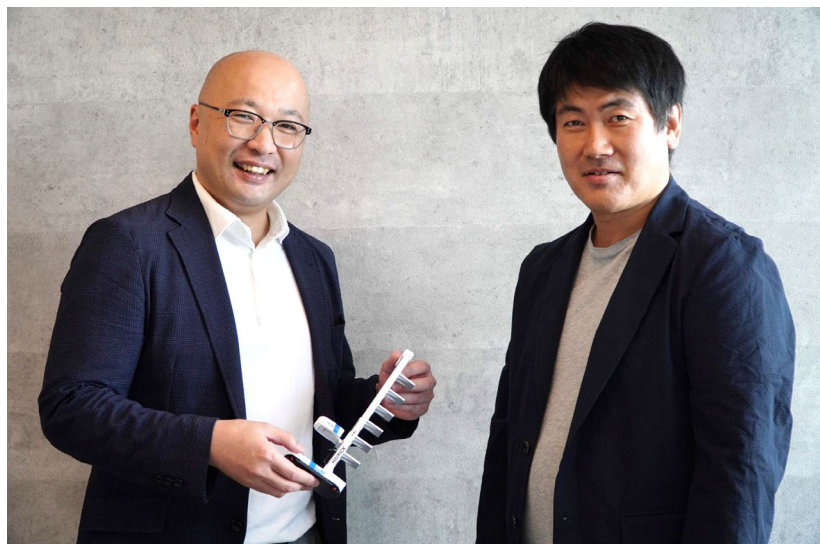
会社概要

名称	株式会社ホタルクス (HotaluX, Ltd.)
所在地	東京都港区
設立年月	2019年4月
事業内容	各種光源、照明器具、制御システムの開発、製造、販売



ロボットソリューションの更なる提供強化

■ HAI ROBOTICS JAPANと物流ロボットの導入保守サポートに関するパートナーシップ契約を締結



株式会社HAI ROBOTICS JAPAN

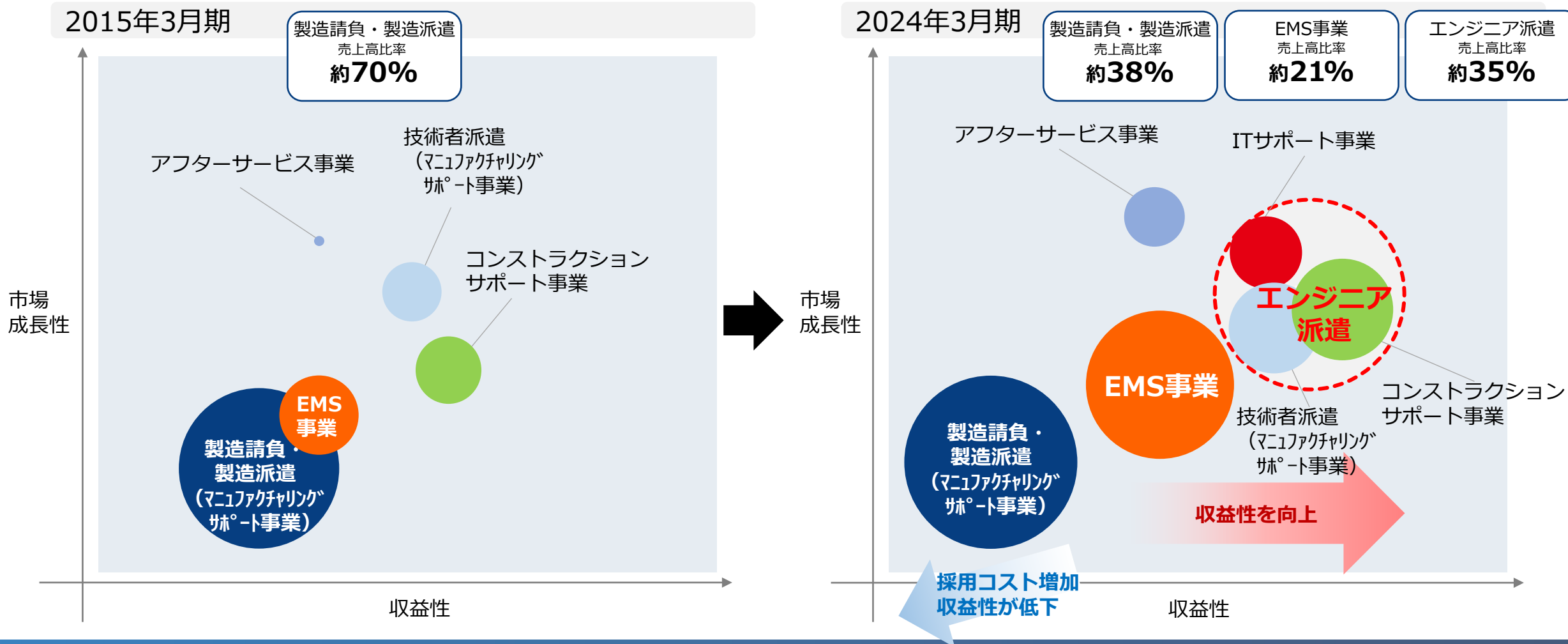
2021年にHAI ROBOTICS Co., Ltd.の日本法人として設立。ACRシステムの導入から運用・支援までのワンストップ提供を通じ、物流、および製造業界の自動化・DXの推進を目指し、日本国内に特化した事業活動を行っています。本社内にHRJテクニカルセンターを併設し、デモンストレーションならびに各種シミュレーションを行なっています。


代表取締役	新井 守
本社	埼玉県入間郡三芳町竹間沢東4-6
事業内容	<ul style="list-style-type: none">各種LA(Logistics Automation)、FA(Factory Automation)自動運搬機のトータルソリューションの提案自動搬送車（ACR、AGV などを含む）及び各種周辺設備の開発、販売
設立	2021年8月25日
資本金	7,735万円
ホームページ	https://www.hairobotics.com/jp



事業ポートフォリオの多様化

- 収益性にこだわり、より付加価値の高い事業に投資を集中
- 「製造請負・製造派遣」の一本柱から、「EMS事業」「エンジニア派遣」を第二・第三の柱事業に育成



A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

APPENDIX (2023年9月末時点)

「千変万化」

感性を高め、事象を予測し、変化に対応

今日、私たちを取り巻く環境においては、
急速かつ様々なパラダイムシフトが日々生じています。
私たちはその変化をビジネスチャンスと捉え、
全従業員の英知の結集と挑戦で新たな付加価値を創造し、
社会とお客様に感動を与える。
それがウイルテックグループです。

代表取締役
宮城 力



会社概要

社名	株式会社ウイルテック (英文表記: WILLTEC Co.,Ltd.)			
代表者	代表取締役 宮城 力			
設立年月日	1992年(平成4年) 4月			
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号			
資本金	155,750,000円			
役員構成	取締役会長執行役員	小倉 秀司	取締役上席執行役員	石井 秀暁
	代表取締役社長執行役員	宮城 力	取締役上席執行役員	水谷 辰雄
	取締役常務執行役員	野地 恭雄	取締役(常勤監査等委員)	京崎 利彦
	取締役上席執行役員	西 隆弘	社外取締役(監査等委員)	麻田 祐司
	取締役上席執行役員	渡邊 剛	社外取締役(監査等委員)	見宮 大介
事業内容	製造請負/製造派遣/技術者派遣/受託製造/電子部品卸売/修理サービス/海外人材育成など			
売上規模	33,231百万円 (連結/2023年3月期)			
従業員数	5,997名 (連結/2023年3月末時点) ※平均臨時雇用者含む			
グループ会社	株式会社ワット・コンサルティング デバイス販売テクノ株式会社 株式会社ウイルハーツ		WILLTEC VIETNAM Co.,Ltd. WILLTEC MYANMAR Co.,Ltd. 株式会社サザンプラン 株式会社パートナー	

売上高推移と沿革

ものづくりを支援する事業領域で基盤を確立

2022

東証スタンダード市場へ移行

過去
最高水準

2020

東証2部市場に上場

(株) サザンプラン グループ会社化
(株) パートナーの分割会社を子会社化

2014

デバイス販売テクノ
(株) グループ会社化
受託製造事業・電子
部品卸売事業 開始

2012

修理サービス事業
開始

2005

(株) ワット・コンサルティング グループ会社化
機電系技術者/建設技術者 派遣事業 開始

2004

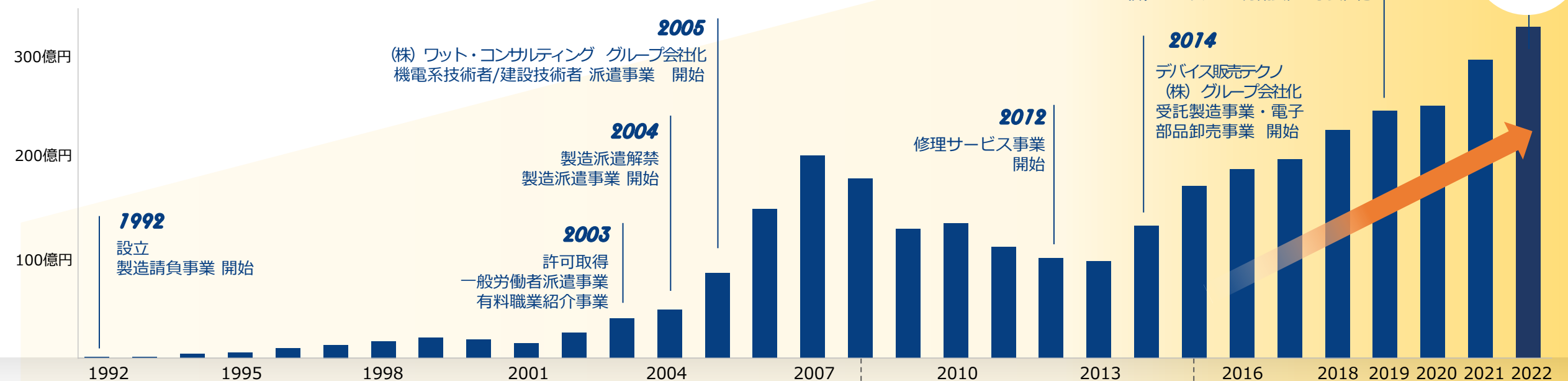
製造派遣解禁
製造派遣事業 開始

2003

許可取得
一般労働者派遣事業
有料職業紹介事業

1992

設立
製造請負事業 開始



2008 リーマンショック
※超円高下で製造業拠点の海外
移転進行

2015 派遣法改正
派遣事業許認可制へ

2020
新型コロナウイルス
世界で感染拡大

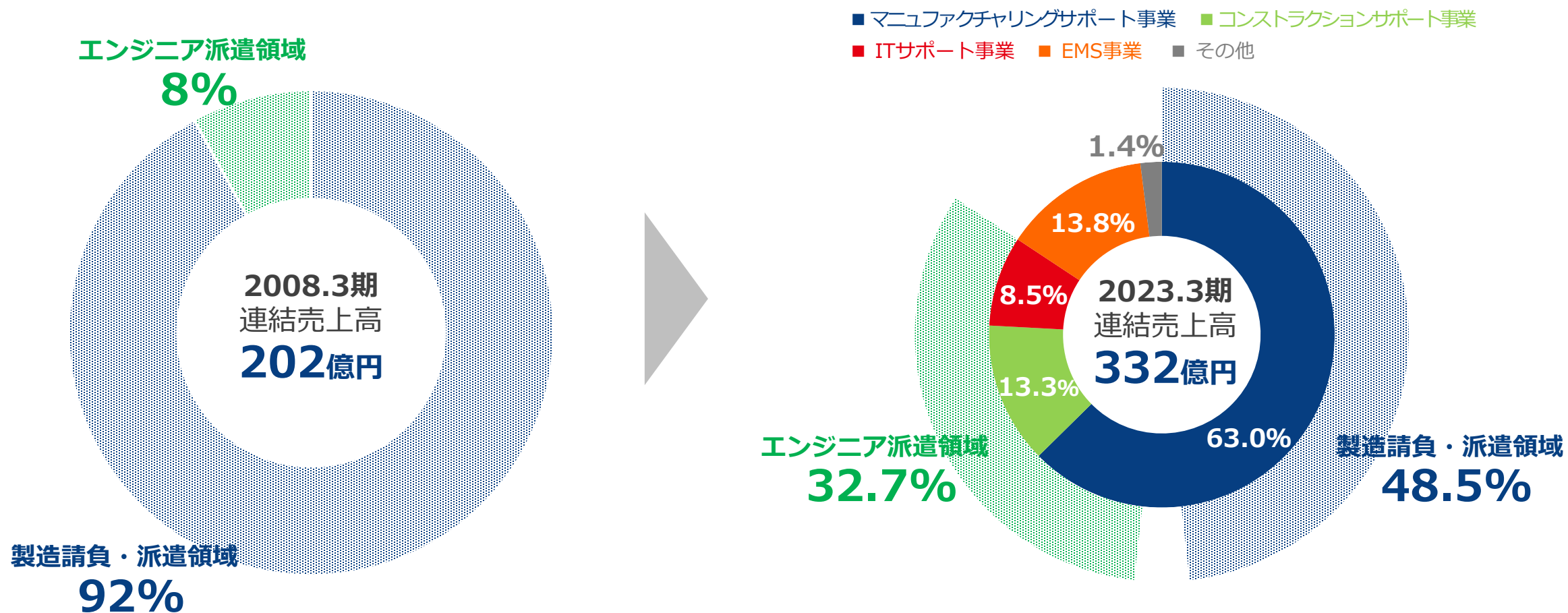
創業期・地域基盤の構築

拡大期・ビジネスモデルの水平展開

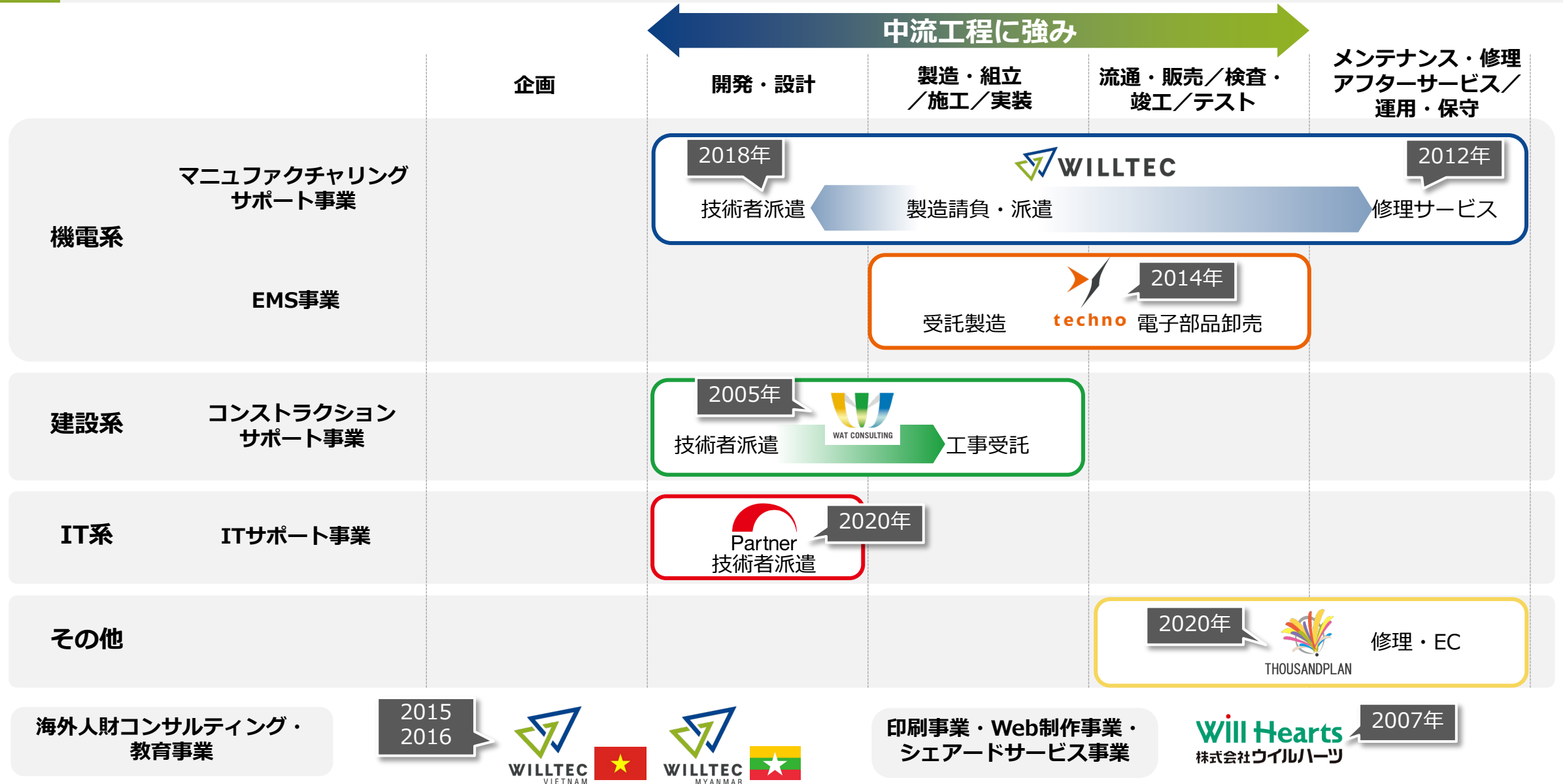
構造改革期・事業領域の拡大

事業ポートフォリオ

■ 事業領域の拡大 ⇒ 市場環境に左右されにくい「安定経営」へ



事業領域



ウイルテックのポジション

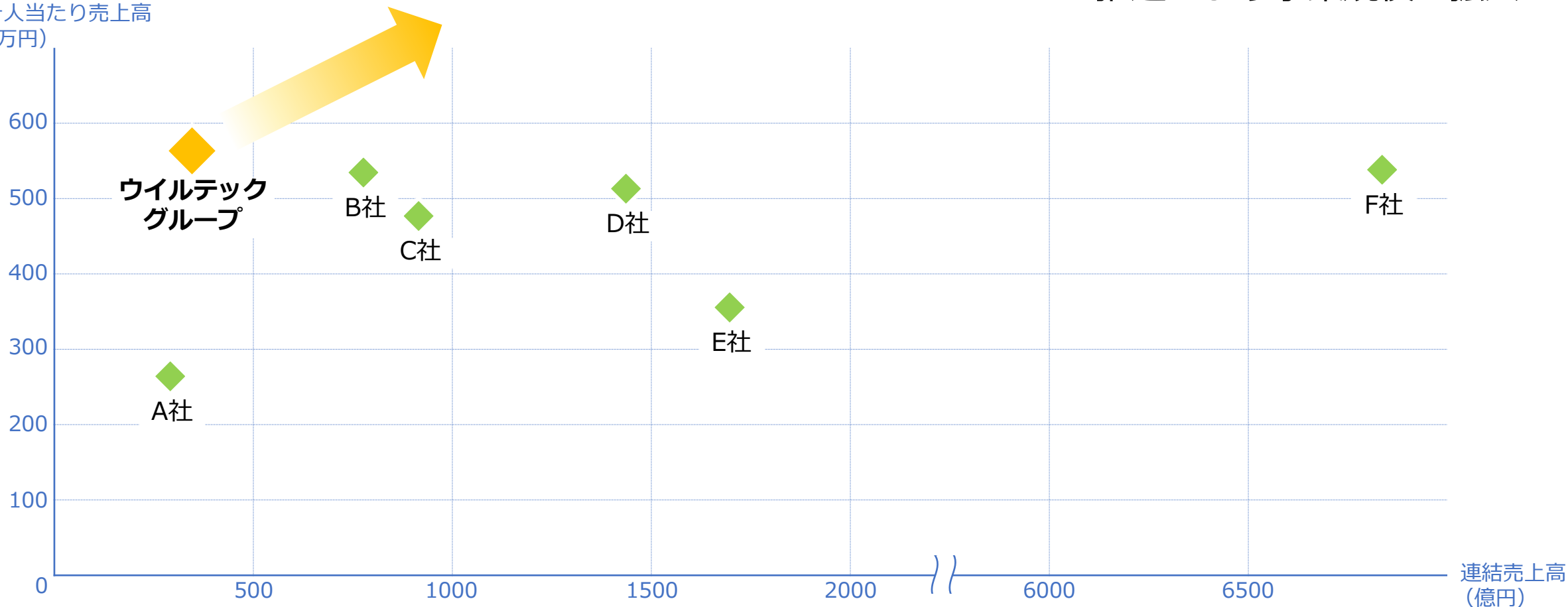
同業他社比較 (上場企業) ■ 連結売上高では後続グループ ■ 一人当たり売上高では業界トップクラス

高い生産性 = 「人財力」で勝負

⇒ 人材育成・教育に注力

⇒ M&A推進により事業規模の拡大

一人当たり売上高 (万円)



(有価証券報告書をもとに当社調べ)

人財基盤

創業以来
「人財が成長基盤」

教育や雇用環境整備に
積極投資



改善の風土

長期顧客化

人財派遣から
顧客ニーズを深掘り

請負契約を獲得、
長期契約につなげる

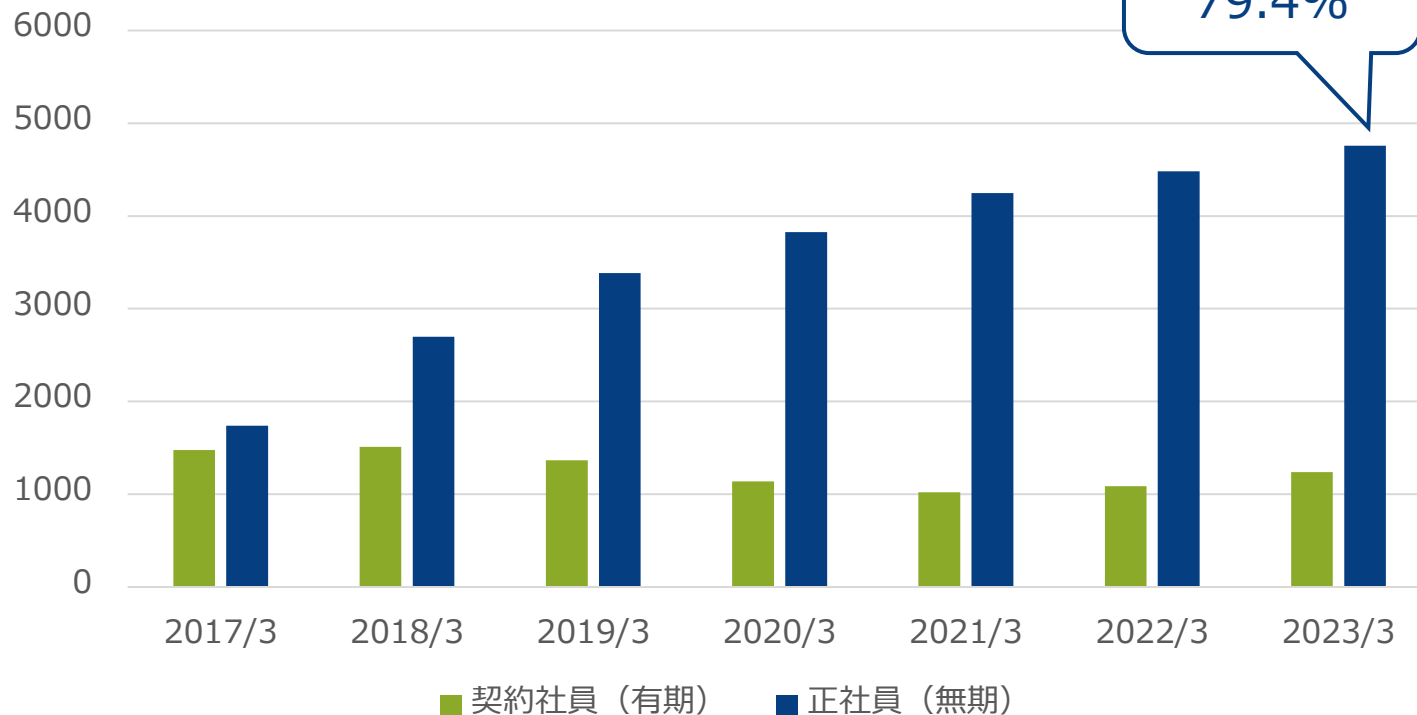
- 技術改善・設備設計の専門部門による顧客課題への提案活動
- 年1回の「改善発表会」開催による現場改善のベストプラクティスの共有

当社グループの強み① 人材基盤

- 創業来「人財が成長基盤」と認識し、人財に積極投資。着実な業績向上を実現。
- 会社および従業員の長期的な成長を目指して正社員比率を高める

安定的な労働環境

人員推移（グループ）



教育環境の充実



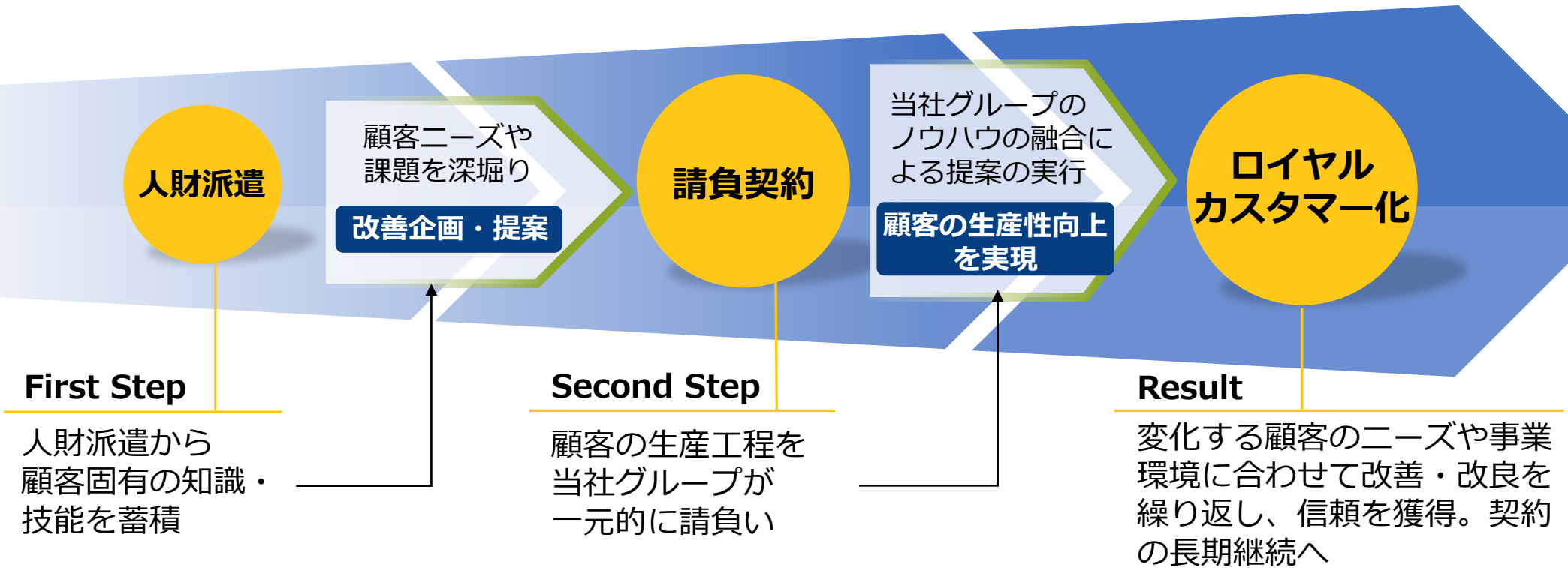
専任講師による専門教育



製造機材を使ったOJT教育

当社グループの強み② 長期顧客化

顧客ニーズの深掘りで信頼を獲得。契約継続年数は年々増加傾向



事業基盤

継続した高度技術人財の研修・育成と、従業員個々の高い改善意識

当社グループの強み③ 改善の社風

改善一番 Kaizen 1st



ベストプラクティスを共有

- 現場改善のベストプラクティスの共有と社員のモチベーション向上を目的に、2006年から毎年開催
- 製造現場のチームだけでなくバックオフィスのチームも参加し、全社的なイベントに成長
- このイベントが、各現場における改善提案の促進に貢献。生産効率、業務効率の向上に大きな成果





本資料に関するお問い合わせ先

情報統括部 広報・IR課 IR担当

ir@willtec.jp